

第二回 発達支援コーディネーター フォローアップ研修

保育実践の戦略をたてる



本日の目標

- 子どもの行動を、応用行動分析学の基本的考え方に従って、分析できる。
- 分析の結果にもとづき、保育上の対応について検討できる。

覚えていますか？

なぜ、テレビのリモコンを押すの
ですか？



覚えていますか？

行動の分析の基本的考え方とは

- 行動を起点に、前後の3つの関係で説明する。

直前の事象
テレビがついていない



行動
リモコンを押す



直後の事象
テレビがつく



なぜ、リモコンのボタンを押すのですか？

覚えていますか？

行動分析の基本的考え方 1



「強化」
と名づけます

覚えていますか？

行動の分析の基本的考え方 2

「強化」には、
ファーストネームがある・・・

正負の計算って、覚えていますか？
「正」は足し算、「負」は引き算。

- 行動の後の事象が、行動の主体に「足されていた」ら、それは「正の強化」。
- 行動の後の事象が、行動の主体から「引かれていた」ら、それは「負の強化」。

人の「行動の原理」その 3

- 「行動」が増加、維持していた場合、その行動の直後の事象は、「強化」といいます。正・負の強化には、それぞれ以下の機能があります。

【足し算】 = 【正の強化】 = 【要求行動】

1)モノや活動が得られる、2)好ましい感覚が得られる、3)人の関わりが得られる

【引き算】 = 【負の強化】 = 【逃避・回避行動】

4)嫌なモノや活動、5)嫌な感覚、6)人が、自分から遠ざけられる

の6つのいずれかであることがわかっています。

覚えていますか？

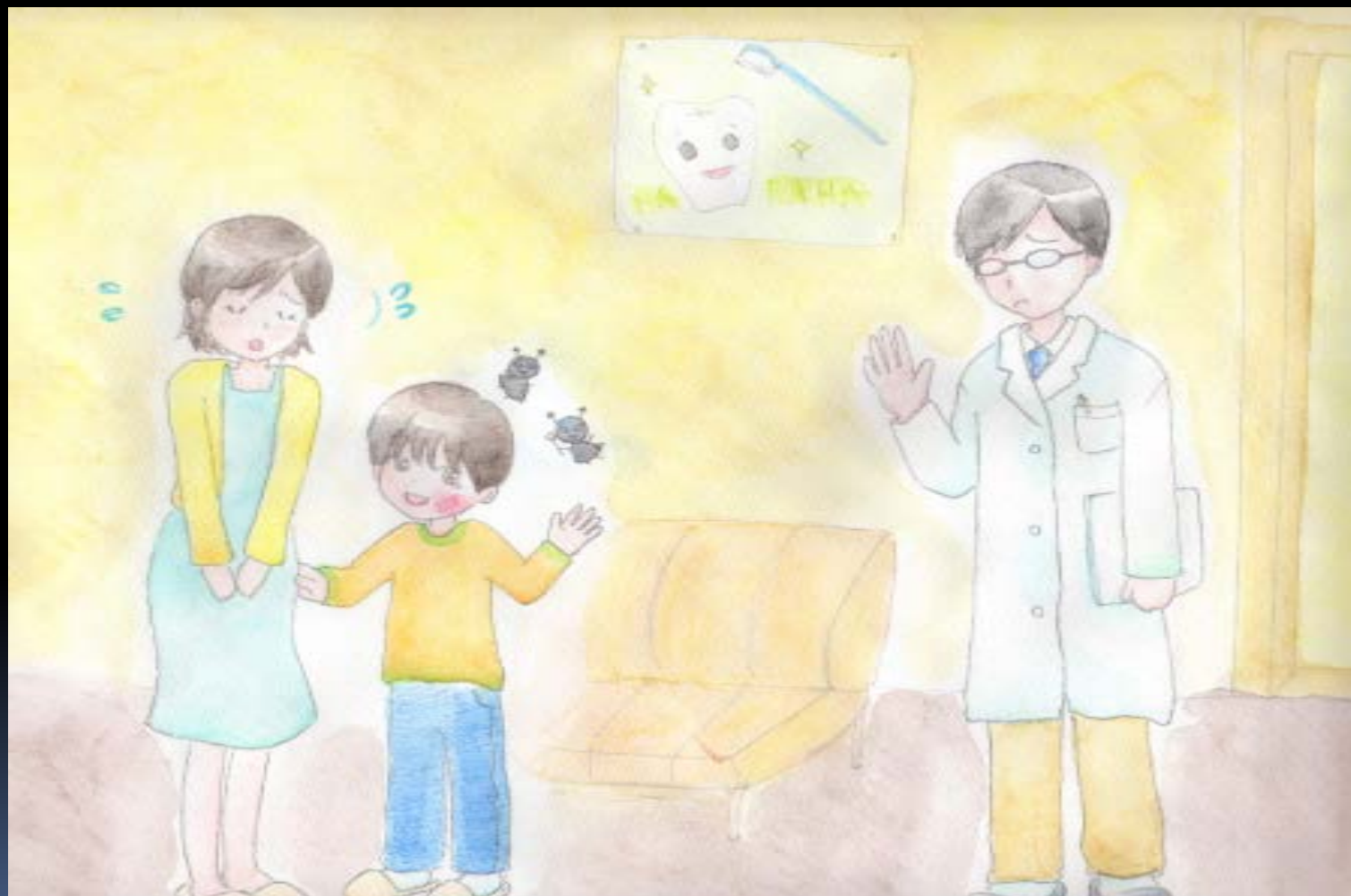
大泣きサフロウ その一



絵：さわこ まりも & じゅんこ

覚えていますか？

大泣きサフロウ その二



絵：さわこ まりも & じゅんこ



どのように戦略をたてる?

『直前(誘発している状態)の変更』か、あるいは『消去手続き』



人の「行動の原理」から考える

- 生起している行動は、その前の事象により「誘発」され、そしてその後の事象により「強化」されています。
- 対応のツボは、行動それ自体をなんとか変えようとするのではなく、「前・後の事象を変更する」ところにある。前・後の事象が変わると、行動は自ずと変化します。

事例（内容は一部変更していますが、実際の事例です）

- お気に入りの三人掛け用ソファーに腰を掛けている、Aさん。他の利用者さんが、そのソファーへ腰かけようと接近します。
- すると、Aさんは、その利用者さんを大声で威嚇します。
- 他の利用者さんは、諦めて立ち去って行きます。

直前

ソファーへ腰かけているところに他の利用者が接近する



行動

大声で威嚇する



直後

他の利用者さんは立ち去る

覚えていますか？

もし「行動の後に、強化」が起こ
らなければ・・・

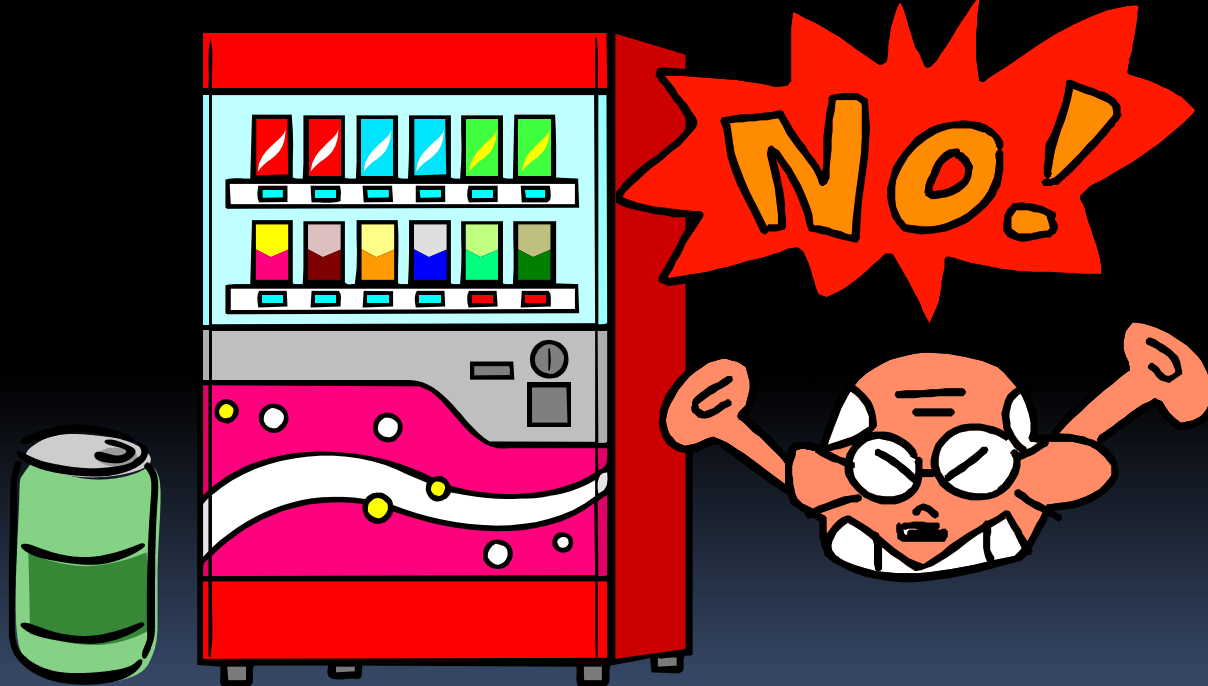
「強化」によって増えていた、もしくは維持し
ていた行動も、その「強化」がないと当該の
行動は減少していきます。

この様な手続きを「**消去手続き**」と呼びます。

ただし、「消去手続き」には注意が
必要です・・・なぜなら

覚えていますか？

ボタンを押したのに、自動販売機からジュースが出てこなかったら・・・ボタンを押す行動は？

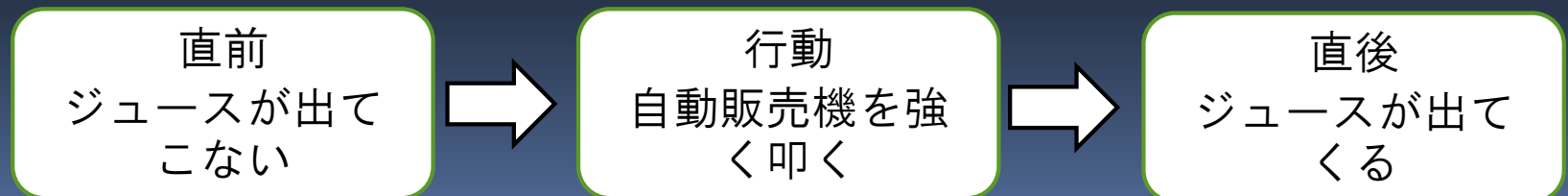


覚えていますか?

消去手続き(extinction) のリスク

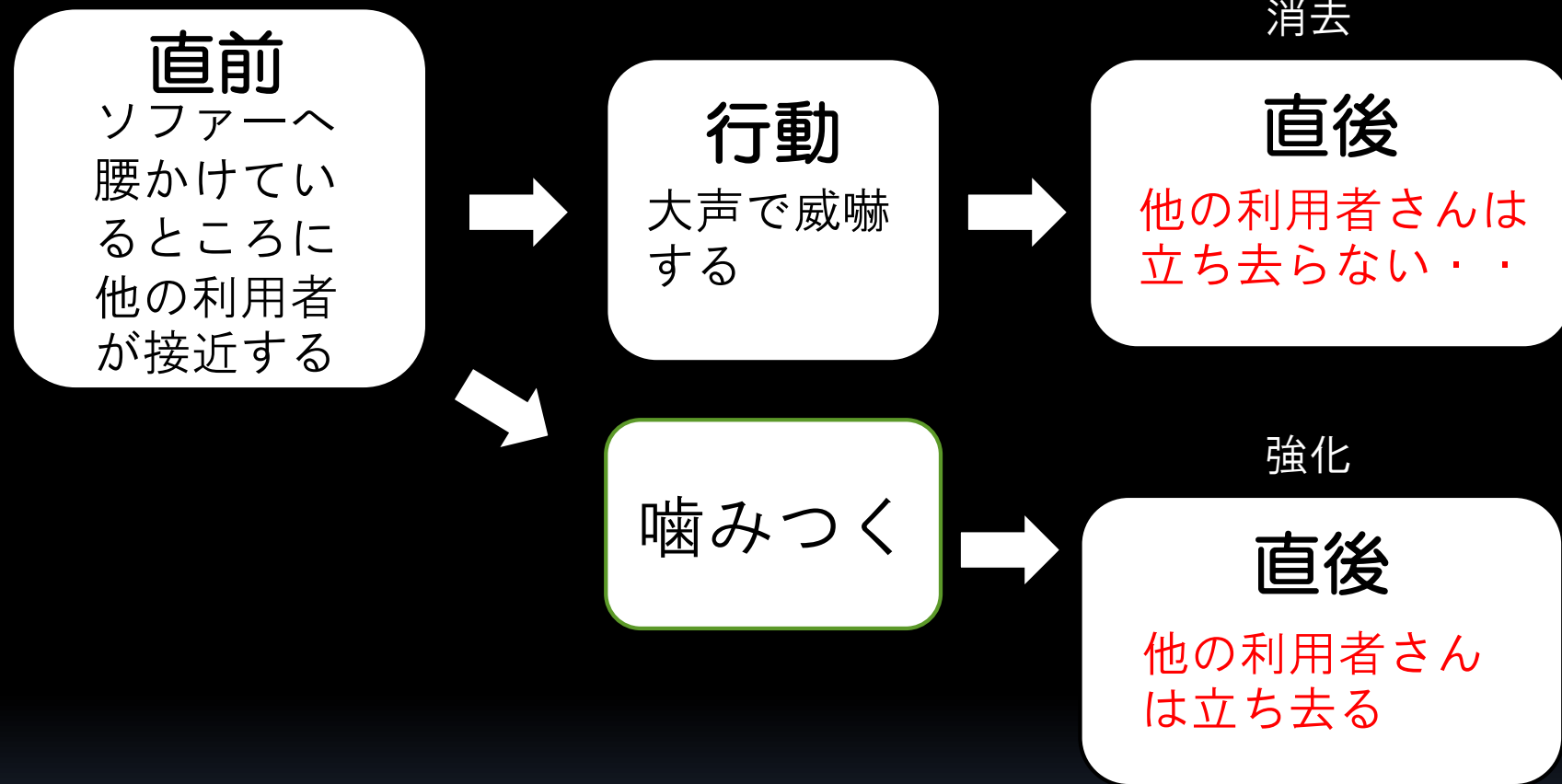
- 消去抵抗
- 消去バースト・攻撃性の生起
- 自発的回復
- 限定的な効果
- 模倣の出現

こうした行動が生起している時に、本人にとって望ましい事象を提示すると・・・



先ほどの事例

(内容は一部変更していますが、実際の事例です)



どうやら、あまり有効な手段ではなさそうです・・・ではどうしますか？

各グループで戦略をたててください



戦略シートの作り方

有効な対応を検討する



事例

- 私の学級に、嫌いな活動になると「窓の外に、鉛筆や消しゴムや、ノートなどを投げ捨てる」子がいます。
- 行動を中心に、前後の様子を記録してみました。「算数」の問題を一人で解かしている時に、その行動は起きています。
- 「投げ捨てる」た時は、ほぼ100%、彼のところに行って注意します。そして、しばらくそばについて、一緒に問題を解くようにしています。

なぜ投げ捨てているのですか。行動を起点に、「行動」「前」「後」の関係で説明しなさい!

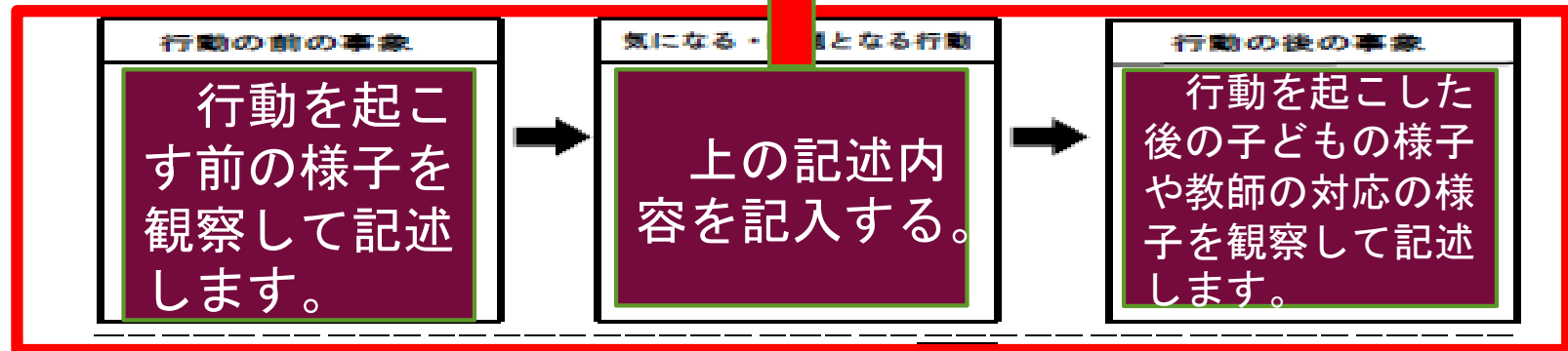
戦略シート

立案日 年 月 日

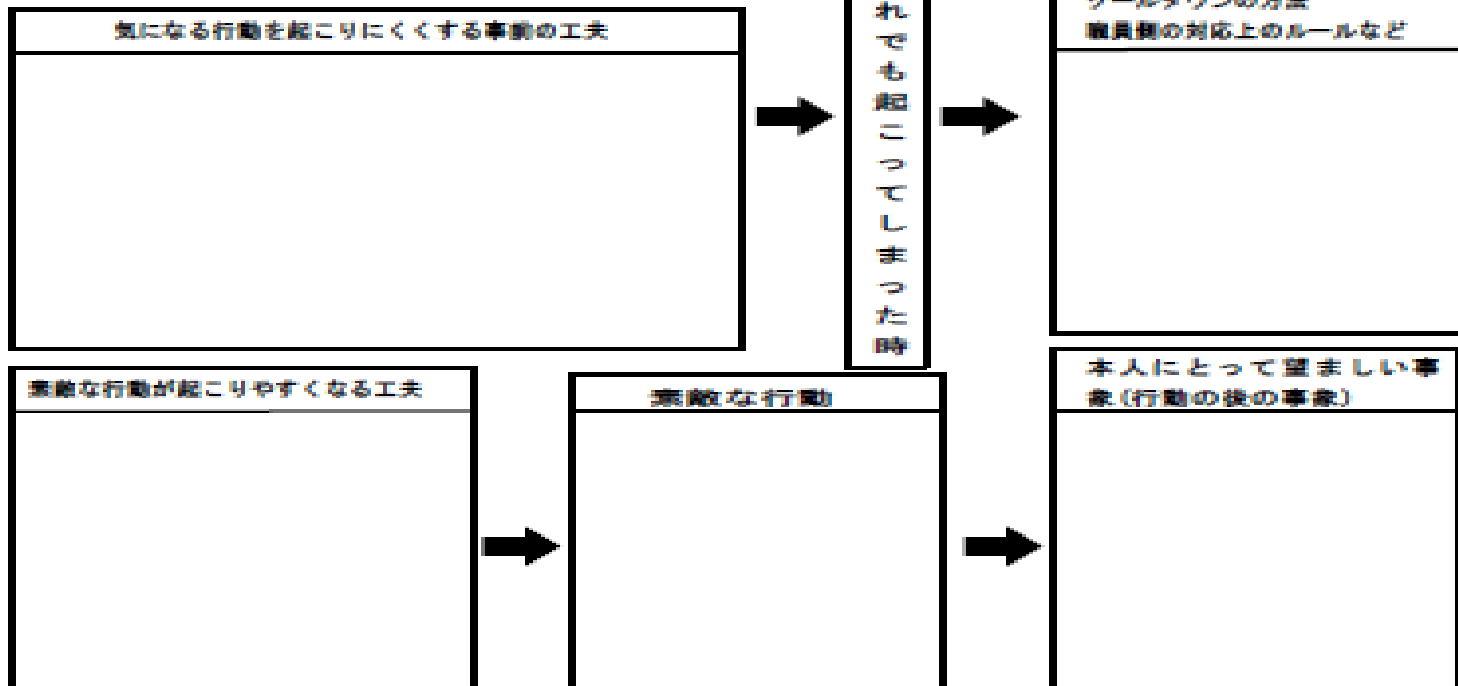
気になる行動・問題となる行動（必ず「地獄テスト」を通過しているか確認すること）

窓の外に、鉛筆や消しゴムや、ノートなどを投げ捨てる

実施監視パート



対応検討パート



整理せよ



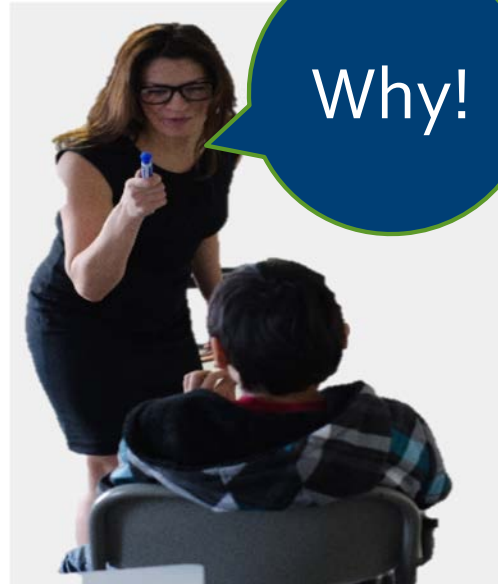
行動の前

算数の問題を一人で解かしている時に



行動

窓の外に、鉛筆や消しゴムや、ノートなどを投げ捨てる



行動の後

彼のところに行って注意します。そして、しばらくそばにいて問題を一緒に解きます。

さきほどの覚えましょう!から考えてみましょう

人の「行動の原理」

『彼のところに行って注意します。そして、しばらくそばにいて問題を一緒に解きます。』

「行動」が増加、あるいは高い水準で維持していた場合、その行動の「後」には、以下のいずれかが起こっています。

【足し算】 = 【正の強化】 = 【要求行動】

1)モノや活動が得られる、2)好ましい感覚
が得られる、3)人の関わりが得られる

【引き算】 = 【負の強化】 = 【逃避・回避行動】

4)嫌なモノや活動から逃げる、5)嫌な感覚
を防ぐ、6)人を拒否する」

チェック1

- 行動を起こす理由は、人それぞれ。
- 勝手な理由の推測で、対応を検討することは害にしかない。
- まずは「困った行動」は、その「前」「後」の関係で整理し、説明すること。



困った行動は

「行動の前」「行動」そして「行動の後」の3つの関係で説明せよ



困った行動を起こりにくくする

行動の「前」の戦略的変更のススメ



対応の戦略1

『行動の前の事象を変える』

- テレビがついているのに、リモコンのボタンを押す人はいません。
- 行動の「前」の事象を工夫すれば、困った行動は、起こりにくくできます。
- ただし、戦略的に変更しなければ、悪く変化します。

行動問題は、人の「行動の原理」を使い、戦略的に変えるのです

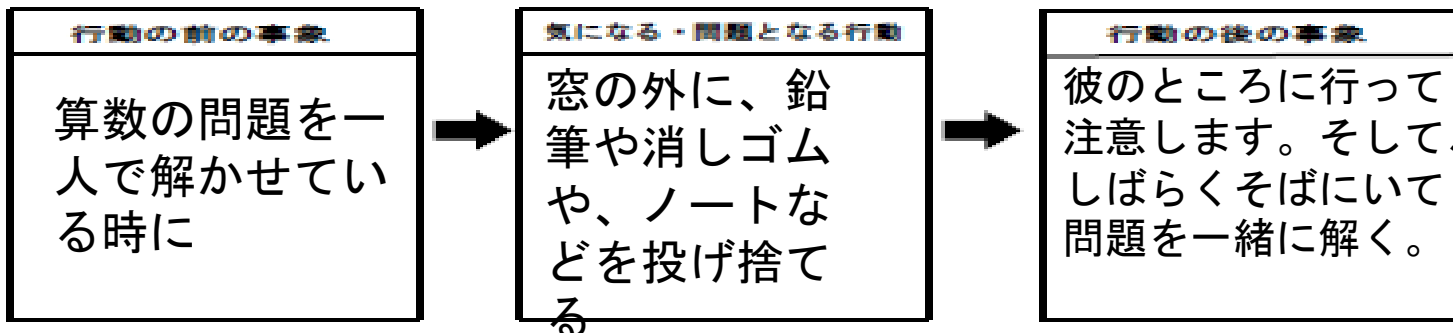
戦略シート

立案日 年 月 日

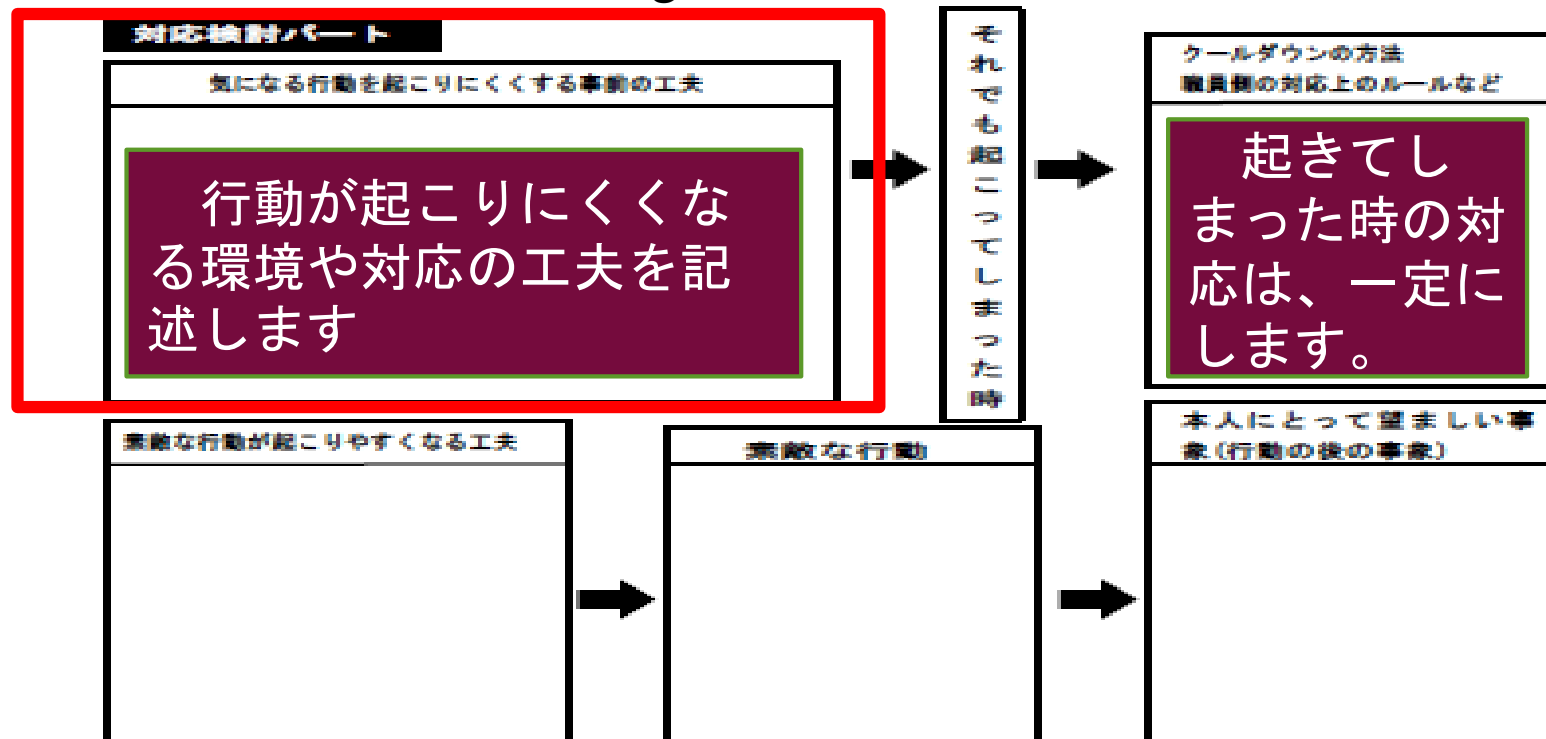
気になる行動・問題となる行動（必ず「地獄テスト」を通過しているか確認すること）

窓の外に、鉛筆や消しゴムや、ノートなどを投げ捨てる

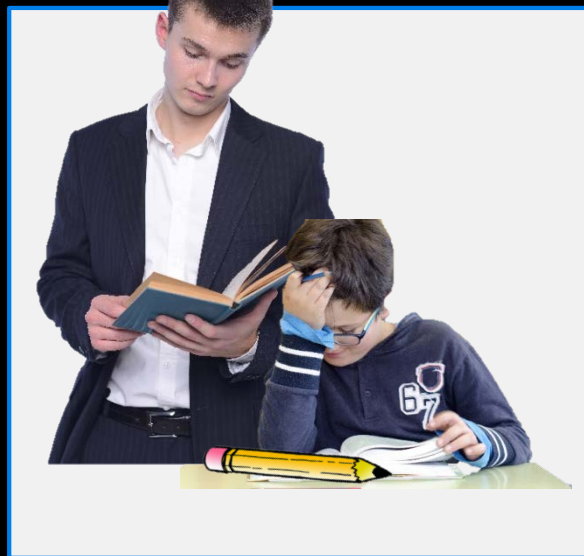
実際監視パート



対応検討パート



対応せよ



Good!!



行動の前

算数の問題を解く時には近くにおいて、鉛筆を投げる前に問題を一緒に解く。

行動

算数の問題を解く。

行動の後

褒められた。

チェック2

- 行動の「前」を正しく変更すれば自ずと行動は変わる。
- スケジュールが事前に示されないことで、パニックを起こす子ども、事前に示されていれば、パニックにならずに済む。この原理と同じです。
- 事前の環境の整備や、事前の対応は困った行動の予防になるのです。



困った行動を起きにくくする、行動の「前」の工夫は出来ていますか？



素敵な行動を増やす

行動の「後」の戦略的変更のススメ



行動を増やすには・・・



- 「さあ、手を挙げて意見を言った人には、一万円あげますよ!!」
- もちろん、手を挙げて意見を言わない場合はあげません。
- ちなみに、一万円は「行動の原理」で言うと、行動の主体に「足し算」されていますか、「引き算」されていますか？

さきほどから度々出てます・・・

人の「行動の原理」

- 「行動」が増加、あるいは高い水準で維持していた場合、その行動の「後」には、以下のいずれかが起こっています。

【足し算】 = 【正の強化】 = 【要求行動】

1)モノや活動が得られる、 2)好ましい感覚
が得られる、 3)人の関わりが得られる

【引き算】 = 【負の強化】 = 【逃避・回避行動】

4)嫌なモノや活動から逃げる、 5)嫌な感覚
を防ぐ、 6)人を拒否する」

素敵な「行動」にすり替える

- いろいろな戦略があります。
- ただし、「行動の原理」を深く、正確に理解しないと問題が大きくなることがあります。
- そこで、今回は「素敵な行動」にすり替えることで、困った行動の出現を相対的に減らすと言う戦略について確認します。

またまた出てきます・・・

人の「行動の原理」

- 「行動」が増加、あるいは高い水準で維持していた場合、その行動の「後」には、以下のいずれかが起こっています。

【足し算】 = 【正の強化】 = 【要求行動】

1)モノや活動が得られる、2)好ましい感覚が得られる、3)人の関わりが得られる

【引き算】 = 【負の強化】 = 【逃避・回避行動】

4)嫌なモノや活動から逃げる、5)嫌な感覚を防ぐ、6)人を拒否する」

対応の戦略2

『素敵ない行動』の後

「本人にとって好ましい足し算」の戦略
素敵ない行動「○○○」をしたら・・・

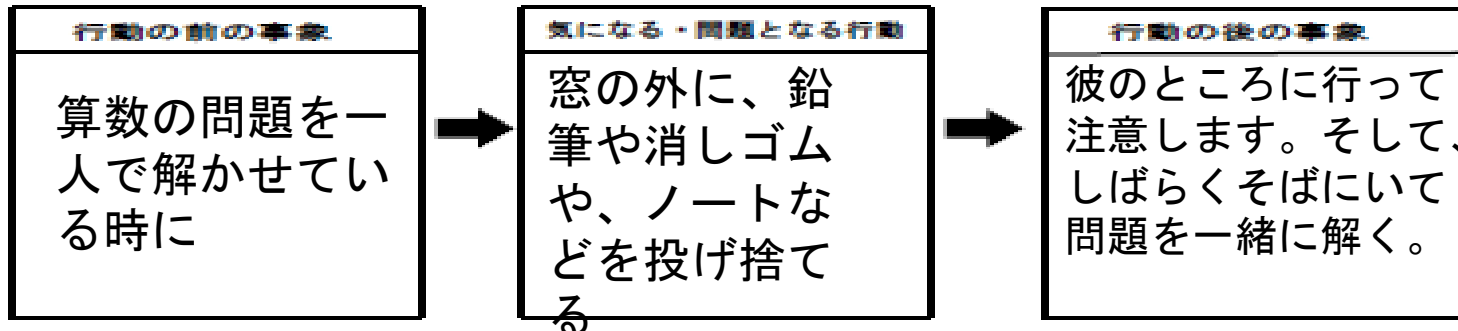
- 1) 『本人の好きなモノや活動が得られる』
- 2) 『本人が好きな感覚が得られる』
- 3) 『関わって欲しい人の関わりが得られる』

ちなみに「褒める」は、かなり万能。つまり
素敵ない行動に対して「褒め褒め作戦」はかなり
有効なのです。

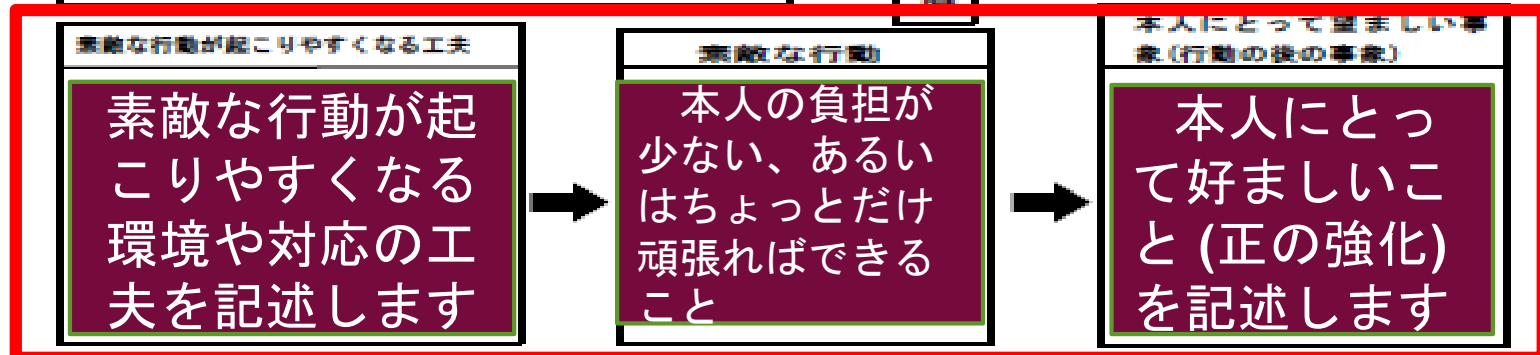
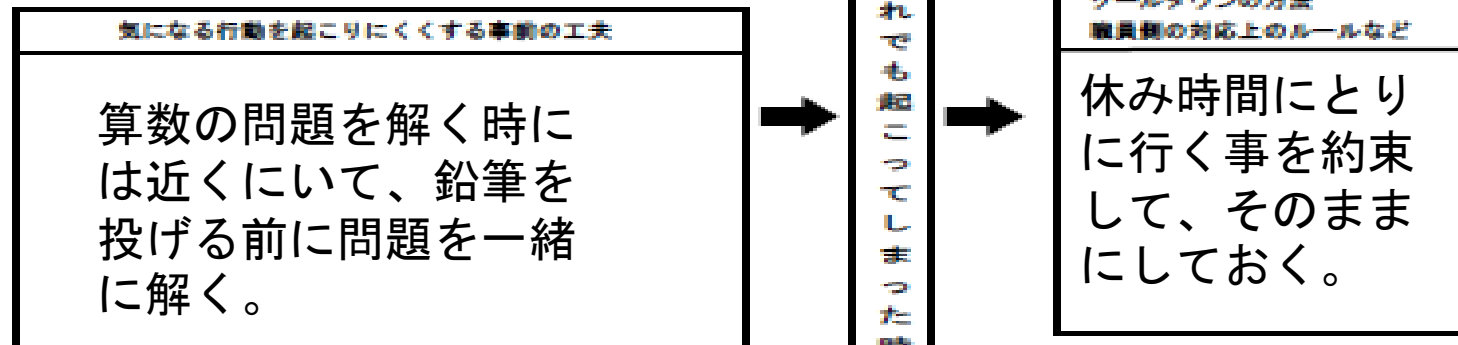
気になる行動・問題となる行動 (必ず「地獄テスト」を通過しているか確認すること)

窓の外に、鉛筆や消しゴムや、ノートなどを投げ捨てる

実際監視パート



対応検討パート



戦略を立てよ



困ったら
手をあげ
るんだぜ!!



へい!!
先生



Very
Good
!!

行動の前

- 一人で問題を解く時は、直前に「困ったとき手を挙げるんだぜ」と言っておく。
- 一人で問題を解かせる時は、すぐ駆けつけられるようにする。
- 困っている様子の時に目があったら、ジェスチャーで手を挙げるよう促す。

行動

手を挙げて
呼ぶ。

行動の後

- 褒める。
- 一緒に問題を解く

チェック3

- 行動の「後」に、本人にとって好ましいことが起こると、その行動はどんどんと強化されていきます。実は、困った行動もこの原理で強化されてきていたのです。
- 素敵な行動が生起した直後の「褒める」は、行動の増加に有効です。
- ただし、行動を起こしてから60秒過ぎてしまってから褒めても、あまり効果はありません。

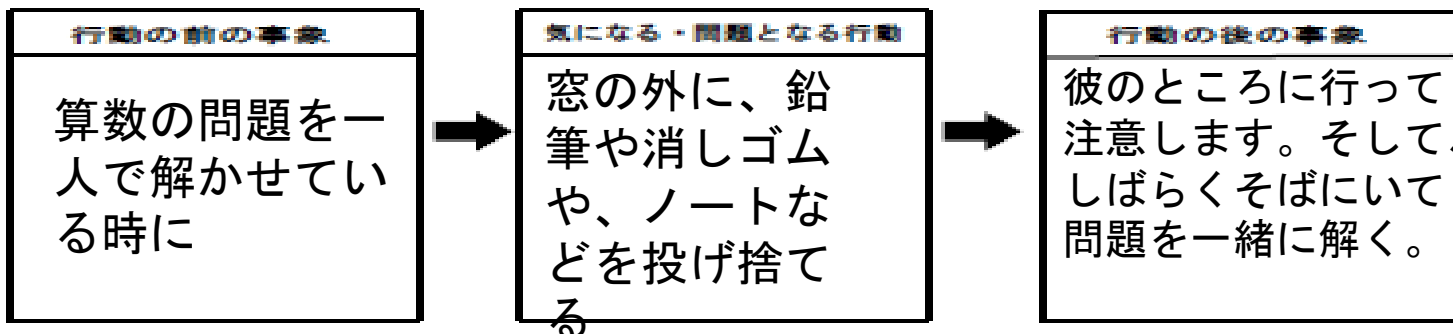


素敵な行動が生起した後に、
すぐに子どもにとって好ましい
ことを提供していますか？

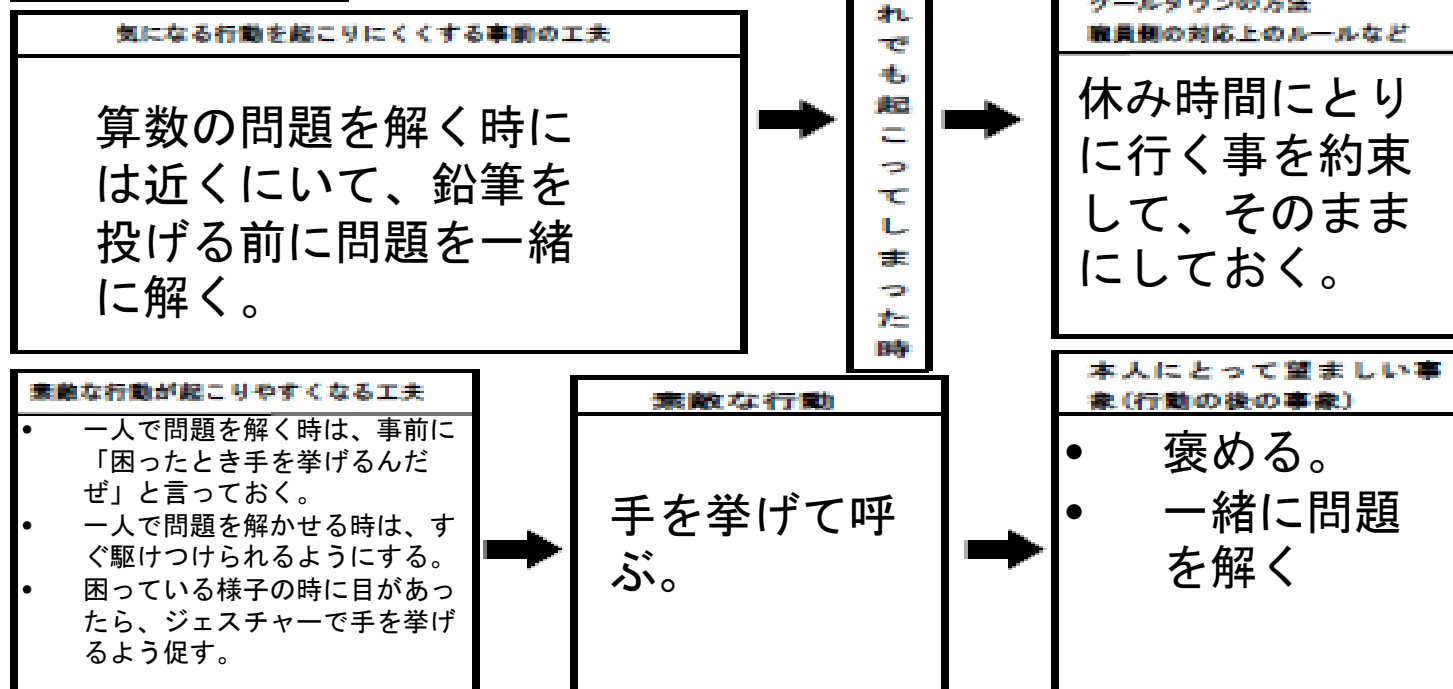
気になる行動・問題となる行動 (必ず「地獄テスト」を通過しているか確認すること)

窓の外に、鉛筆や消しゴムや、ノートなどを投げ捨てる

実際監視パート



対応検討パート



気になる行動・問題となる行動（必ず「体験テスト」を通過しているか確認すること）

窓の外に、鉛筆や消しゴムや、ノートなどを投げ捨てる

実施監視パート

- あとは、この戦略を忠実に実行します。
- ただし、子どもの行動に変化が出てくるまでには時間を要することがあります。
- 戦略を実行して、行動が急激に悪化した場合は、戦略のどこかに誤りがある可能性があります。3つのチェックを再度行ってください。

- 一人で問題を解く時は、事前に「困ったとき手を挙げるんだぜ」とっておく。
- 一人で問題を解かせるときは、すぐ駆けつけられるようにする。
- 困っている様子の時に目があったら、ジェスチャーで手を挙げるよう促す。

手を挙げて呼ぶ。

- 褒める。
- 一緒に問題を解く



行動を起こりにくくする工夫

行動の整理と分析をもとに



撮ってきた保育環境の工夫

- それぞれが撮影してきた保育環境の工夫をみんなに紹介してください。

各グループで15分

アイデアは、自分以外の人の中に眠っていることが、よくおわかりになるかと・・・。



実践

記録から戦略シートを作成する



記録から分析する

- 優先的に対応する行動に絞ります(緊急性が高い、頻度が多いetc)。
- スキャッタープロット、行動観察シート、日課表をもとに、子どもの実態を整理する。
- 「戦略シート」の中で、整理する。

覚えていますか？

スキャッタープロット

- 「ある行動」が生起している実態を視覚的に把握するための記録法。
- 行動の生起しやすい時間帯が分かりやすく把握できる。

- ① 行動が生起した時間をチェックする
- ② 「行動の強さ」も合わせて記録する。
- ③ 「いくつかの行動」が連続的に生起するものも合わせて記録する。

スキッタープロットの例

記録する行動

①「ヤメロ」と怒鳴る

②叩く

③「ウッセー、バカ」と暴言を吐

日付	日	日	日	日	日	日	日	
曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	
6:00								
6:30								
7:00								
7:30								
8:00	[Redacted]							
8:30								
9:00								
9:30								
10:00	①②③		①	①	①			
10:30			②			①②		
11:00	[Redacted]							
11:30								
12:00								
12:30								
13:00		①②			①②③			
13:30	[Redacted]							
14:00								
14:30								
15:00								
15:30								
16:00	①			①②				
16:30								

その「行動」が起きている活動を特定することも大事だが、起きている活動も特定することも大事な事である。

覚えていますか？

行動観察シート

- 行動の前・行動・行動の後(対応)の様子が記述できる。
- 特に、「どのような対応をしたか」「その結果、子どもの行動はどうなったか」という視点に注目し、“対応と結果”の関係を整理できる。

行動観察シート

共通する記述の内容から、「誘発」している事象は何かを整理する。

共通する記述の内容から、「強化」となっている事象は何かを整理する。

6月19日

行動観察シート

観察対象者氏名

記録者

時間	行動前の事象(きっかけ)	行動	行動後の事象(対応も含む)
10時15分	間違っただ子を見る	「ヤメロ」と、怒鳴る	相手の子が反応した「いいんだもん」
10時18分	相手の子が反応した「いいんだもん」	叩く	相手の子が泣きだし、先生がダメと言った
10時20分	相手の子が泣きだし、先生がダメと言った	ウッセーバカと言って先生を蹴る	どうしてそういうこと言うのと言ってなだめた

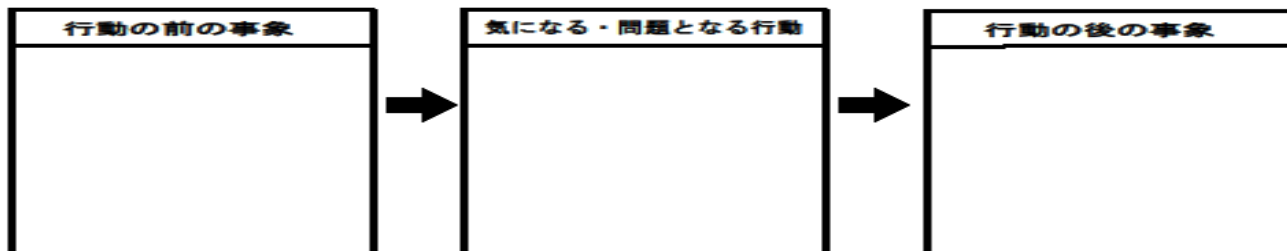
戦略シート

立案日 年 月 日

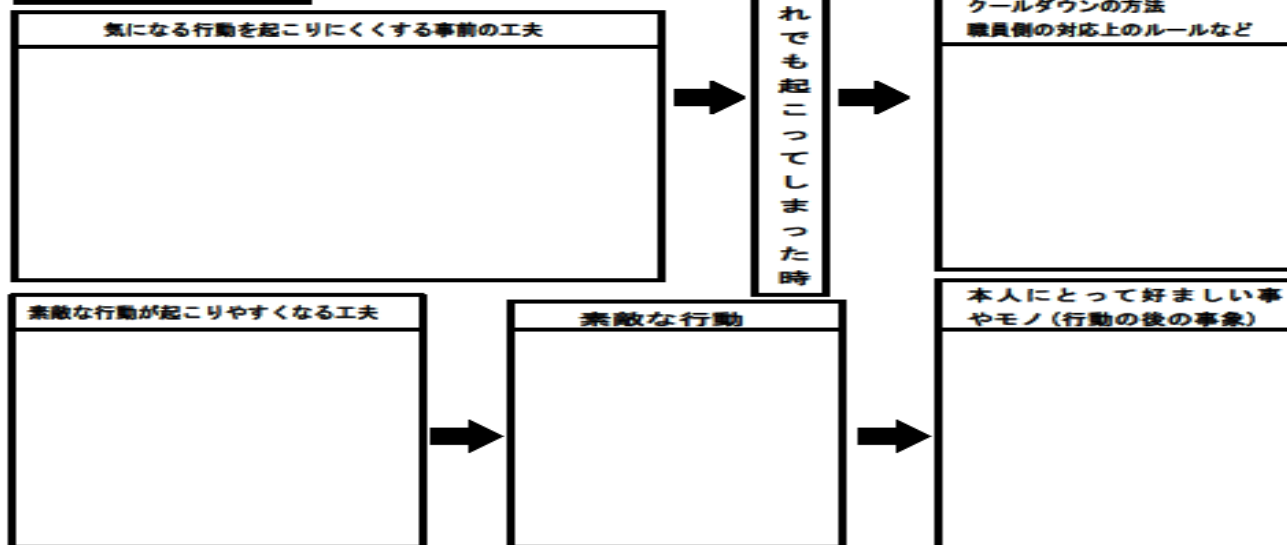
Ver.2.3

気になる行動・問題となる行動 (必ず「地蔵テスト」を通過しているか確認すること)

実態整理パート



対応検討パート



展開

- データの整理と問題の焦点化と戦略
- 二人組、もしくは三人組で「行動分析」を行い、戦略について説明し、アイデアをもらう。

限られた時間の中で、記録を整理し、戦略をたてる練習をしましょう。コーディネーターにはそうした力も必要とされます。

次回までの宿題

- 今回立てた戦略を実行する。一度立てた戦略は、コロコロ変更しない。
- スキャッタープロット、行動観察シートは、引き続き記録し続けてください(次回の研修で使用します)

有川研究室

E-Mail : arikawa@ed.niigata-u.ac.jp

Twitter: <https://twitter.com/aripiyon>

Facebook : <https://www.facebook.com/arikawa.hiroyuki>

HP: <http://arichannel.jp/>

講義で使用した資料は下記URLへ
<http://arichannel.jp/research-program/developmental-supporter-step-up/>

アップしました。

